

イタリア・トスカーナ州に在る世界遺産
『サン・ジミナーノの歴史地区』
～丘の上の”塔の街”～



イタリア中部、トスカーナ州に在る『サン・ジミナーノの歴史地区』は、標高 324m の小高い丘の上に築かれており、街の外にはなだらかな高原や葡萄畑が広がります。

トスカーナ州は「世界で最も美しい田舎」とも称されており、その美しい景色は多くのルネサンス芸術家たちを惹きつけ、絵画の題材とされてきた地域です。今回ご紹介する「サン・ジミナーノ」は、フィレンツェから約 50km 南西に位置しています。人口約 8 千人のコムーネ(中世イタリアの自治都市)ひとつです。

この街には 12 世紀から 14 世紀頃にかけての建築物が多く残っており、中世から殆ど変わらない姿を呈しています。街の中には、高さ 50m ほどの石造りの塔がいくつも並んでいます。

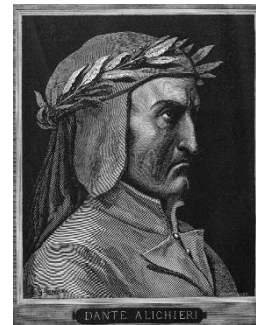


聖堂、宮殿、塔などによって囲まれた「ドウオモ広場」

イタリア中部、通商の要路に在ったこの街は、10世紀頃に、貿易主要拠点として繁栄しました。富の集中化が進み、1150年には「コムーネ」として独立することとなります。街の名の由来となったサン・ジミニャーノの大聖堂には多くの巡礼者が訪れ、裕福な街となり、さらには、芸術家たちが集まる「芸術の街」ともなりました。また、多くのコムーネに分かれていたイタリアでは、^{せいしよくじまにんけん}聖職叙任権をめぐり、ローマ教皇と神聖ローマ皇帝のどちらを支持するか、争いが続いていました。教皇派(ゲルフ)と皇帝派(ギベリン)に分かれた内戦中には、両派ともに富と権力を顕示するかのよう、高い塔を建設していきます。当時は、72基もの塔が建てられましたが(現在は14基が残ります)、競争があまりにも激化したため、1311年に議会はポポロ宮内に高さ54mの「グロッサの塔」を建て、この塔より高いものを建設することを禁じました。



サン・ジミニャーノの街並み



ダンテ・アリギエーリ
代表作『神曲』は、中世の最も重要な詩のひとつとされる

両派の対立は、ダンテの『神曲』で触られています。さらには、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』でも、モンタギュー家(皇帝派)とキャピュレット家(教皇派)の対立が描かれています。

このように権力争いの舞台となったサン・ジミニャーノですが、当時の姿を良好な状態で維持できている理由に、14世紀のペストの大流行があります。ペストの影響により、病や飢餓に苦しむ人々、死に至る人々は増加し、人口が減少。街は徐々に^{すた}廃れていき、^{すいたい}衰退の一途を^{いよく}辿りました。そして皮肉なことに、捨て去られた街は戦争に巻き込まれることもなく、美しい中世の街並みは、当時のまま、残されることとなったのです。



ペストマスクを装着した医師



サン・ジミニャーノのメイン通り

1990年、この地は『サン・ジミニャーノの歴史地区』として世界遺産に登録されました。構成資産には、高い塔だけでなく、14～15世紀まで遡るイタリア美術の傑作さかのぼも含まれます。これらの作品は、大聖堂や宗教的建物、公共施設でも観られます。また、狭いエリアに、広場や通り、住宅・宮殿、井戸・噴水など、生活に必要なものが集中的に造られているため、中世における機能性の優れた都市構造を示す、重要な文化遺産となっています。現地を訪れると、当時の様子をまざまざと想像できるほど、保存状態の良好な建造物がお目見えます。



13世紀の井戸(チステルナ)



歴史的建物の間には
光が差し込む路地がたくさんあります

『サン・ジミニャーノの歴史地区』へは、フィレンツェから電車とバスを利用し、トスカーナの高原を渡ります。丘を登っている最中、頂いただきにサン・ジミニャーノを仰ぎ見て、美しい光景に感動しました。入口の門をくぐり、街へ入ると、メインストリートに出ます。通りに沿って並び立つ中世の建物内では、お土産ショップやレストランなどが営まれています。



お土産ショップで販売されるワイン



街を囲む城壁

トスカーナ州では赤ワインが有名ですが、サン・ジミニャーノ周辺で造られる「ヴェルナッチャ・ディ・サンジミニャーノ」は、トスカーナで唯一の、最上級の白ワイン、「D.O.C.G. (Denominazione di Origine Controllata e Garantita)」です。13世紀頃にはその名が知られており、歴代ミラノ君主やフィレンツェのメディチ家を筆頭とする貴族たちが、こぞってサン・ジミニャーノのブドウ園を購入した、という記録も残っています。ワイン造りの歴史は深く、紀元前9世紀、この地に文明を開いたエトルリア人が、ブドウ栽培やワイン造りを伝えたと言われています。観光客向けに、安価でシンプルなスタイルのワインを造る生産者も多いため、訪れた際にはお試しいただきたいです。

今回の『サン・ジミニャーノの歴史地区』の旅のコラムは、いかがでしたでしょうか。

日本人観光客向けのツアーでは訪問先に含まれることが少ない場所ですが(現地の方に「日本人は珍しいよ」と声をかけられるほどでした)、中世にタイムスリップしたかのような街並み、内戦やペストの歴史、芸術などに触れられる貴重な世界遺産の街です。機会がありましたら、ぜひ訪れてみてください。

世界遺産アカデミー認定講師
世界遺産検定マイスター
若狭 かな恵